



カムインズエンジン搭載車 再生制御式DPFの取り扱いについて

再生制御式DPFシステムは、排気ガスに含まれるスス(粒子状物質)をマフラー内のセラミックフィルターに捕集し、一定以上堆積すると走行中および作業中に自動再生(燃焼除去)を行います(DPF自動再生)。また、発進と停止の繰り返しや低速走行の連続などでは自動再生が完了しないことがあります。そのときは停車して手動再生を行う必要があります(DPF手動再生)。

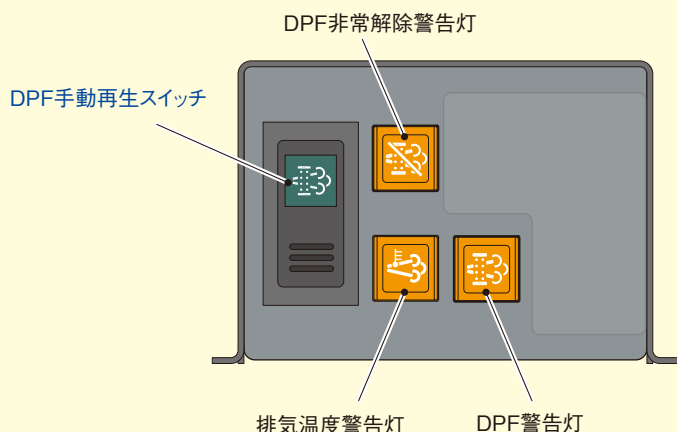
手動再生が必要なときは  DPF警告灯の点灯、点滅によりお知らせしますので、安全な場所に停車し実施してください。

1 DPF警告灯の点灯、点滅

 **警告** 換気の悪い場所ではDPFの手動再生を行わないでください。一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。

注意

自動再生中に停車するときや、手動再生を行うときに排気出口付近に燃えやすい物が無いことを確認してください。排気ガスが高温になっているので燃えやすい物が近くにあると火災を起こす恐れがあります。また、排気管やマフラー付近および排気ガスには触れないでください。やけどをする恐れがあります。排気温度警告灯が点灯しているときは、排気ガス温度が特に高くなっているため、周囲環境に細心の配慮をお願いします。



 DPF警告灯が点灯、点滅したら



DPFの手動再生が必要です。



DPF警告灯が点灯しているとき

早めに手動再生をしてください。
※DPF警告灯が点灯したまま走行・作業を続けると、DPF警告灯が点灯から点滅に変わることがあります。



DPF警告灯が点滅しているとき

走行・作業を中止し、すぐに手動再生をしてください。
※エンジン出力が低下し始めます。

カムインズエンジン搭載車 再生制御式DPFの取り扱いについて

2 手動再生のしかた

(DPF警告灯が点灯、点滅しているときのみ、手動再生可能です。)

1 安全な場所に、車両を停車させてください。
 ※再生中は排気ガスが高温になりますので、排気口付近に燃えやすい物が無いか確認してください。

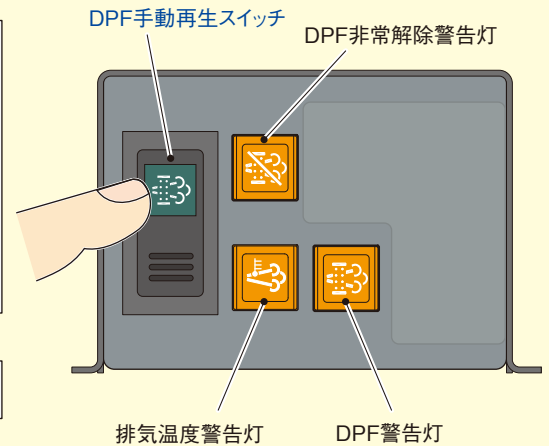
2 以下の状態にします。

- ・パーキングブレーキスイッチ：「PARK」
- ・シフトレバー：「N」
- ・PTOスイッチ：「OFF」
- ・アイドル調整ボタン：「SLOW」
- ・アクセルペダルから足を離す

※水温が低い場合は暖気運転を行ってください。

3 DPF手動再生スイッチを5秒間押します。

4 エンジン回転数が $1000\text{min}^{-1}\{\text{rpm}\}$ に上がり、手動再生が始まります。
 手動再生時間は約30～40分程度です。
 DPFの再生作業中は、排気温度警告灯が点灯し、DPF警告灯が消灯します。
 排気温度警告灯が消灯したら手動再生完了です。
 ※手動再生時間はスス堆積量や環境により前後します。



注意

DPFの手動再生を行わずに走行・作業を続けると、エンジン警告灯が点灯するとともにエンジン出力が低下します。エンジン警告灯が点灯したまま走行・作業を続けると、エンジンの故障につながりますのですみやかにタダノ指定サービス工場に連絡してください。



3 エンジンオイルについて

DPFの機能を長期間維持するために、指定のDPF専用エンジンオイル(JASO規格 DH-2以上)を使用してください。
 エンジンオイルの銘柄はエンジン取扱説明書を参照してください。

4 燃料について

この機械は超低硫黄軽油(硫黄分が15ppm以下の軽油)専用です。規格以外の燃料を使用した場合は、DPFおよびエンジンの故障の原因になります。

機械を使用する前にお読みください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。